

Nagashima FORUM 21

2019.5.1
VOL.
462 未来日本

<http://www.nagashima21.net/>

『令和』揮毫=長島昭久、表紙写真撮影=藤原裕之

令和



未来に誇れる 日本へ！

平成から令和へ

「未来に誇れる日本」再起動

二大政党制。日本にも二つの政党が切磋琢磨する政治を創りたい。そのためには、何としても政権交代可能な野党第一党をつくり上げる。

そんな思いに燃えて、当時野党第一党だった民主党政権3年はあまりにも短かいものでしたが、多くの批判を浴びたものの成し遂げたことも少なくなかつたと自負しています。財源不足で中途半端に終わった「子ども手当」は批判されました。しかし、「チルドレン・ファースト」の理念は、それまで高齢者福祉に偏っていた社会保障を全世代型に転換する契機となりました。

「コンクリートから人へ」というスローガンにも、公共事業頼みの地方から怨嗟の声が上がりました。それでも、限られた財源を教育や研究開発をはじめとする「人への投資」に回すことの重要性を喚起したことときを誇りに思っています。人が成長してこそ、経済も成長する。成長を牽引する技術革新も人の手によって成し遂げられるからです。人に投資することは、未来への投資にほかなりません。

つまづきは、外交・安全保障政策でした。この分野のスペシャリストとして国政を志した私としては痛恨の極みです。日米同盟関係を不安定化させることができだけ国益を傷つけることになるか。北朝鮮から恫喝され、中国から圧力をかけられ、ロシアからは侮られ、我が国の国際的な影響力は低下しました。民主党政権3代目の野田政権で外交・安全保障担当の総理補佐官として、森本敏大臣の下で防衛副大臣として、最後には何

とか日米関係を正常化させ、アジア太平洋における海洋安保と新たな経済秩序を確立する端緒を開くことができたと自負しますが、時すでに遅し。失った国民の信頼を回復できず、下野することになりました。

しかし、そこからが試練の連続でした。日本が国際社会においてリーダーシップを發揮するために必要な不可欠な安全保障法制の抜本改革に対し、「戦争法案」のレッテルを張り、共産党と共に闘して情緒的な反対論を煽る姿は、政権を担つた経験を持つ政党的矜持も、再び政権を担わんとする覚悟も喪失した瞬間でした。

たとえ内政問題では激しく対峙したとしても、国際情勢に関し一定の共通認識に基づく現実的な外交・安全保障政策を追求することは、政権担当能力を示す政党の最低条件ともいえます。とりわけ私自身にとっては「譲れない一線」です。

失意の底で民主党(当時は民進党)を離党してから早2年。この間に保守改革政党たる「希望の党」を立ち上げたものの分裂し瓦解。今は、敢えて、不毛な与野党対立からは一線を画し、無所属の立場を貫いています。ここからどう巻き返すか。いかにして世の人のために働くか、政治家として正念場を迎えています。大学進学を前に志した「国際政治をリードできる政治家たらん」という原点に立ち返り、再び我が国の外交・安全保障の最前線に立つべく、自らの持てる力全てを国政に注ぎ込んで行動してまいる決意です。

時あたかも「平成」から「令和」にうつる春爛漫、新たな決意を固めて国政に邁進してまいります。

長島昭久
後援会事務所

長島昭久プロフィール

- 衆議院議員6期目(無所属)。東京21区選出。(立川市、日野市、国立市、多摩市の一部、稻城市の一部、八王子市の一部)元防衛副大臣。元総理大臣補佐官。
- 衆議院会派「未来日本」代表、衆議院安全保障委員会委員、憲法審査会委員、子どもの貧困対策推進議員連盟幹事長、児童虐待から子どもを守る議員の会発起人。
- 1962年(昭和37年)生まれ。寅年。慶應義塾大学大学院修了、米国ジョンズ・ホプキンス大学で修士号取得。日本スポーツ協会理事、日本スケート連盟副会長、立川市陸上競技協会名誉会長。妻と娘2人の4人家族で立川市曙町在住。

国会見学ツアー

テレビでよく見る国会議事堂の中を見てみませんか?

開催日
通常
開催回

6/18(火)

夏休み
ファミリー
特別企画

7/24(水)



○午前10時現地集合～13時頃現地解散
○申込締切：開催日の1週間前まで

○参加費：無料(交通費・昼食代除く)
詳しくは、長島事務所までお問合せを！

長島昭久後援会事務所 [E-mail](mailto:tokyo21@nagashima21.net) [tokyo21@nagashima21.net](http://www.nagashima21.net)

〒190-0022 東京都立川市錦町2-2-5 アオイビル3F TEL:042-548-2700 FAX:042-548-2711

21 www.nagashima21.net @nagashima21 facebook.com/aki.nagashima21

! 情報配信中 !



最新の活動をお知らせします！



長島昭久 1年間の動き を振り返る

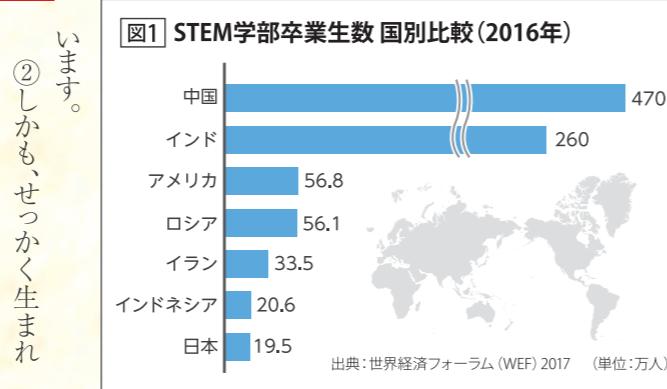
未来保障

日本の未来を決定するの
は、人材です。かねてから「資
源に恵まれない日本」という
ことで人材の重要性が語られ
てきましたが、今や技術革新
によりエネルギーそのものを
創り出すことができる時代
になりました。

技術は人が発見し、研究
し、開発し、実用化してはじ
めで豊かさにつながります。
社会は人によって成り立ち、
経済を動かすのも、政治を担
うの人も人です。その意味で、
人材育成こそ國の最大の使
命です。

その人材が、今日の日本で
はあらゆる意味で危機に直面
しているのです。

①まず、生まれる数が圧倒
的に少くなりました。かつ
て団塊の世代は年間250万人
人も生まれていましたが、今
や100万人を大きく割って



②しかも、せつかく生まれ
た尊い命が、虐待、いじめ、貧
困などにより失われてしまう
事件が多発しています。

③また、就学前から初等中
等教育、そして高等専門教育
課程に至る子どもたちの「学
ぶ機会」が様々な要因により
制約されていることも看過で
きません。

④さらには、毎年のように

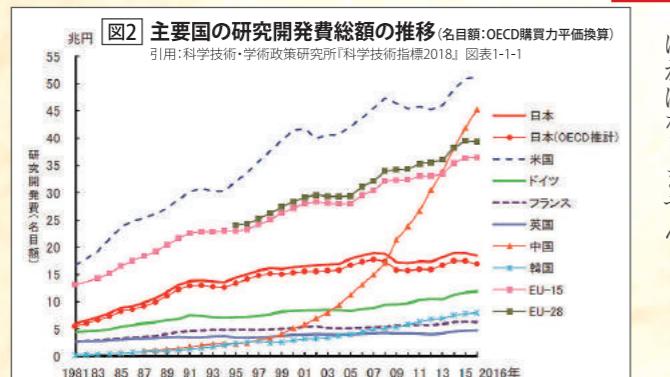
輩出されるノーベル賞学者の
皆さんが口をそろえて訴える
ように、我が国の科学分野の
研究・開発環境の劣悪さは、
自らの首を絞めているといつ
ても過言ではありません。

この①から④までの各段階
において、政治は課題解決の
ための適切な政策・制度と十分
な予算を確立しなければ
なりません。

①②をめぐっては、昨年の
フィンランド視察で確信を
持った「日本版ネウボラ」制
度の創設と全国展開が必要
です。

③では、家庭の経済状況に
関わらず全ての子どもに最
高の教育機会を保障するた
めの憲法改正を目指します。

④の核心は、経済成長の
「素」である技術革新を生み
出すSTEM人材(Science,
technology, engineering,
& mathematicsすなわち理
系人材)の輩出に国を挙げて



取り組むことです。

図1に明らかなように、これ

からの革新的技術をめぐる

国際競争を勝ち抜くには、

日本は「革命的な努力」が必

要です。加えて、各国に比べ

著しく貧弱な研究開発費

(国と民間合計・図2参照)

を倍増し、科学技術立国を

担う人材育成を加速させな

ければなりません。



安全保障



昨年の臨時国会から、衆院の安全保障委員会に復帰し、外交・安全保障政策をめぐる議論の最前線に立つこととなりました。これまで同様、政府の掲げ足取りやスキンシップ追及という不毛な与野党対決からは一線を画し、提案型の質疑に徹しておられます。

これまでに安全保障委員会および経済産業委員会で8回の質疑に立ち、具体的な提案を示して、北朝鮮に対する国連制裁を徹底させる法整備の必要性を訴えます。

①制裁破りの懸念がある具体的な事案を示して、北朝鮮に対する国連制裁に鑑み「国家安全保障戦略」の刷新を求め(11月16日)、

②我が国を取り巻く戦略環境の激変に鑑み「防衛計画大綱」の刷新合併(平成30年11月13日)、

③韓国最高裁の「徵用工」判決に対する我が国政府の早期対応を促し(11月29日)、

④防衛装備品の調達において米国からの完成品輸入に依存することで我が国の防衛産業技術基盤が劣化することのないよう警鐘を鳴らし(平成31年3月8日)、

⑤次世代通信規格5Gをめぐる米中のハイテク覇権争いを概観しつつ、5G時代をにらんだ我が国とのサイ

政策とは、ますます分かち難いものとなっています。私も、従来から取り組んできた「地政学」(私の造語)の領域に質しました(4月10日)。このように、安全保障と経済産業や産業競争力への影響について政府に質しました。

政策とは、ますます分かち難いものとなっています。そう考えると、やはり国際の伸長こそが重要であり、そのためには「人への投資」、とりわけ「理系人材」育成への投資が不可欠であることがわかります。次頁では、そのための政策について、ボトムアップの視点で議論を深めます。

さらににはAIやIoT、ロボットなど知識戦略を練り上げていきたいと考えております。そう考えると、やはり国際化された「地政学」(私の造語)の領域まで視野を広げて、総合的な安全保障政策と安全保障を融合した「地経学」、

財や科学技術をめぐる競争の視点を加味した「知政学」(私の造語)の領域まで視野を広げて、総合的な安全保障政策について、ボトムアップの視点で議論を深めます。

